

参考書のご案内

二級ボイラー技士免許試験は、「ボイラーの構造」10問、「ボイラーの取扱い」10問、「燃料及び燃焼」10問、「関係法令」10問、計40問が出題され、400点満点で各科目の平均が60点以上(合計点数が240点以上)が合格となりますが、40点未満の科目が1科目でもあれば不合格となります。

◎新版『最短合格 2級ボイラー技士試験』 2,750 円(本体2,500 円+税)

2019年4月第1版第3刷

過去の2級ボイラー技士試験で実際に出題された問題を徹底的に分析し、出題傾向や出題の頻度がわかるようにしています。また、280点におよぶオリジナルのカラーイラストを付したわかりやすい解説により、ボイラーの取扱いにおける重要事項が容易に理解できるようにしています。今回、技術科目に加え、**新たに法令科目を追加し、全科目を網羅**しました。この一冊で試験対策は万全です!!



◎『2級ボイラー技士教本』 2,618 円(本体2,380 円+税)

2018年5月改訂第6版

2級ボイラー技士として求められる知識を系統だって解説した、必ずしも受験にこだわらない標準的な参考書です。合格後も座右の書としていつまでもお役にたつことでしょう。なお、内容的には『最短合格2級ボイラー技士試験』と同じ範囲をカバーしており、重複している部分がありますのでご注意ください。



◎改訂『1級ボイラー技士教本』 3,080円(本体2,800円+税)

2019年8月改訂第1版

1級ボイラー技士必携の書として、ボイラー取扱者が実際の現場で役立つように、「ボイラーの構造」・「ボイラーの取扱い」・「燃料及び燃焼」に関する事項について、1級ボイラー技士がその職務を適切に実施するために必要な内容を盛り込んでいます。また、本書は厚生労働省告示「ボイラー技士免許規程」に示されている試験科目の範囲に従い編纂しており、試験範囲をすべて網羅しているので**1級ボイラー技士を目指す方**にとって最適な受験用図書です。



◎新版『わかりやすいボイラー及び圧力容器安全規則』 1,375 円(本体1,250 円+税)

2018年10月改訂第1版4刷

試験科目のうち、「関係法令」をカバーし、難しい法令をわかりやすく解説しています。技術問題で良い点を取っても、法令問題で40点以上取れない場合、不合格になることを考えれば、法令の参考書は受験の必読書といえます。また、本書は1級ボイラー技士免許試験にも対応しておりますので、一冊で二度おいしい参考書でもあります。



◎『2級ボイラー技士免許試験標準問題集』(解説付) 2,618 円(本体2,380 円+税)

2017年8月改訂第1版2刷

2級ボイラー技士免許試験程度の標準的な問題を当協会編纂し解答とポイント解説を付けた問題集です。収録問題は410問にのびります。練習問題はやればやるだけ力がつくという意味においては最適な問題集です。



◎『2級ボイラー技士免許試験公表問題及び解答・解説』 530 円(本体482 円+税)

いわゆる「過去問」です。関東安全衛生技術センターでは、2級ボイラー技士免許試験は年16回程度行われており、前期(1~6月)実施回のうち任意の1回分、後期(7~12月)実施回のうち任意の1回分、計年2回分の試験問題のみを公表しております。この公表問題に丁寧な解答・解説をつけたのが本書です。一回分(40問)が一冊になっており、前期(1~6月)をその年の12月ごろ、後期(7~12月)を翌年6月ごろ発行しています。



<例> 26年前期(26年1~6月実施分) 26年後期(26年7~12月実施分)

在庫は次のとおりです。 1級:平成26年~平成22年の前・後期分
2級:平成23年~平成21年の前・後期分

薄く小型なので、二つ折りにしてジーンズのポケットにも入り、出先でちょっと時間があるときを利用して勉強が出来ます。

◎新版『1級・2級ボイラー技士免許試験公表問題及び解答・解説』

各 2,200円(本体2,000円+税)

2020年1月発行

平成28年後期から令和1年前期までの1級・2級ボイラー技士試験公表問題6回分を各々1冊にまとめました! 実際に出題された問題に解答とわかりやすい解説付き、出題傾向とレベルを知るうえで格好の教材です。



お勧めの一冊!